

国際ロータリー第2660地区 2015-16年度のための地区研修・協議会記録  
2015. 4. 11

第2部 部門別協議会 (職業奉仕部門)

12階 1202号室 職業奉仕部門	パストガバナー 神崎 茂	次年度職業奉仕委員長 次年度地区研修委員	田中 徳彦 (大阪西南) 木越 正司 (大阪西)
議事録作成者	濱中 眞希子		

15:25-15:30 確認・出席者紹介 (5分) 地区職業奉仕委員会次年度副委員長 只井 恒満
15:30-15:35 挨拶 (5分) パストガバナー 神崎 茂
委員長の悩みについて 職業奉仕の意味のアンケート 職業奉仕とは何か Vocational サービス、アーサーシェルドン 四大奉仕 ロータリーの原点の理念として、自らの仕事を通じて社会に奉仕。
15:35-15:45 地区職業奉仕委員会方針発表 (10分) 地区職業奉仕委員会次年度委員長 田中 徳彦 ・委員会 委員長としての拝命のあいさつ ①RI ラビンドラン会長のテーマ「世界へのプレゼントになろう Be a gift to the world」 ②ガバナー方針「変革を！ロータリーを通じて奉仕（プレゼント）を！」 ①②を受けて、「それぞれの職業を通じて奉仕を！」を各クラブに拡げる活動、 職業奉仕の Gift を作るためのお手伝いを行ってまいります。
15:45-16:15 活動発表 (30分) 地区職業奉仕委員会委員 長谷 裕代・関谷 洋子 地区職業奉仕委員会次年度委員長 田中 徳彦
職業奉仕月間には委員長が CD を使って勉強し、委員長自身が卓話を行うことを勧める。IM 毎に委員 会で担当者を決めて、各クラブ訪問をした際に、地区委員が実際に感じた事、及びアンケートの結果に 基づいて報告を行った (長谷委員) 職場見学会を実施している→32クラブ (約70%) と、その内容。 (会員の事業所の見学) (公共施設の見学) (興味のある施設への見学) に分けることができる。ただ、

見学してくるだけではなく、見学した際に得られた新しい発見や学んだこと等を有意義に各クラブで役立てる方向に持っていくことが大切。

地区の委員会でお手伝いできることがあればお申し付け頂きたい。

出前授業は大阪西南 RC のプログラム事例を説明し、出前授業の取り組みの学校とのやり取りや出前授業の講師派遣に至る道のりと、仕事の哲学や道德感、また、仕事を通じて得た体験等を話に行くと言った内容等の説明。

16 : 15-16 : 55

講演 (40分) 次年度地区研修委員 木越 正司

テーマ「職業奉仕委員長の責務」職業奉仕の考え方を広めて人材を育成しよう。

- ・職業奉仕とは何か→ロータリー運動は倫理運動である。から始まる。  
自分の職業において、世の為、人の為に行動し奉仕することが結果として、自分が信頼・信用を得るにつながる。
- ・アーサー・F・シェルドンの職業奉仕の理念について  
「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる」=He profits most who serves best.
- ・ロータリーの I serve の話。(We Serve) との違い。
- ・全分野の職業人を対象とするロータリー、ロータリーの職業奉仕の心について  
ロータリーの人づくりについて、ロータリアンの内なる人づくりと外に向けて、ロータリアン以外の人づくり(出前授業や職場体験学習等)。今後地区委員会では各クラブで卓話やフォーラムを真剣に取り組むためのサポートをさせて頂く。

16 : 55-16 : 57

アンケートの説明 (2分) 地区職業奉仕委員会次年度副委員長 只井 恒満

16 : 57-17 : 00

閉会 (3分) 地区職業奉仕委員会次年度副委員長 高杉 英一

## 重点ポイント

- ・ CD 配布→クラブ内での卓話→委員長自らが行う
- ・ 職場見学会→新しい発見等、間なんだ事を今後の奉仕活動力へとつなぐ。
- ・ 出前授業→
- ・ 米山梅吉→ロータリーの例会は人生の道場。人づくりの修練の場である。